

臨床研究の実施に関する情報公開

金沢医科大学では、研究倫理審査委員会の承認を得て、下記の臨床研究を実施しています。

患者さん又は患者さんの代理の方が、この研究のために患者さん本人の試料・情報を使用・提供されることにご了承いただけない場合は、問合せ先までご連絡ください。情報の使用等についてお断りになられても、患者さんに不利益となることはございません。

研究課題名	金沢医科大学での10年間における眼内レンズ脱臼の傾向的調査
研究機関名	金沢医科大学
研究機関の長	学長：宮澤克人
研究責任者	金沢医科大学 眼科学 水戸毅
研究期間	倫理審査委員会承認日 ～ 2026年6月
研究参加拒否 申込受付期間	2026年5月31日 までにお知らせください。 上記の日付以降は、匿名化の処理を行い個人の判別が出来なくなるため研究対象からの除外は出来なくなりますので、研究参加の拒否をされる場合は期日までをお願いいたします。
対象者	2015年7月から2025年6月の間に金沢医科大学眼科にて眼内レンズ脱臼の治療のため手術加療を要した患者
当該研究の意義・目的	白内障手術後に生じることのある眼内レンズ脱臼は、二次的な手術を必要とし、レンズを抜去して新たなレンズを眼内に固定することとなります。手術せず放置すると、網膜裂孔の発生や網膜剥離、硝子体出血、水疱性角膜症などを発症し失明に至る可能性があります。海外からの報告では、この眼内レンズ脱臼の症例が増加傾向にあるとされていますが、日本においての眼内レンズ脱臼の発生率やその要因などを詳しく調べた研究はこれまでありません。そこで今回は当院において過去10年の間に手術加療を受けた眼内レンズ脱臼症例を電子カルテから抽出し、症例数が増加傾向にあるか調べることにしました。当院は石川県における中核病院であり、県内全域から眼内レンズ脱臼の紹介症例が豊富であり、当院における眼内レンズ脱臼の傾向などが判明すれば、日本の地方都市における眼内レンズ脱臼症例の傾向と一致する可能性があり、ひいては我が国における将来の眼内レンズ脱臼症例の調査がおこなわれる際の貴重な情報となりえます。また今回の研究により、眼内レンズ脱臼を生じるまでの期間やその背景因子の特徴などを捉えることができれば、今後これらの背景を踏まえた白内障手術後の経過観察やリスクの低い術式の選択ができるなど、社会的な貢献に寄与するものと思われます。
方法および研究で 利用する試料・情報について	本研究は、対象患者さんのカルテから術前後の情報を収集し、得られたデータから眼内レンズ脱臼に関連する要因を解析します。この研究のために、患者さんに新たな検査や費用が追加されることは一切ありません。研究によって得られた知的財産の所有権は研究組織および研究者に属します。
外部への資料・情報の提供	外部への提供はありません。
個人情報の開示に係る手続き	個人情報の開示に係る手続きは、下記の問合せ先にご相談ください。
資料の閲覧及び研究対象者等の求めに 応じて、研究対象者が識別される 試料・情報の利用	あなたからのご要望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、この研究の計画や方法についての関連資料をご覧いただくことができますのでお申し出下さい。この研究で得られる結果を実際の治療に結びつけるには、今後さらに研究を進める必要があり、今すぐ、個人の病気の治療などに役立つものではありません。以上のことから、今回の研究では、ご本人に関する解析結果をお

又は他の研究機関 への提供を停止す る旨について	知らせする事は想定しておりません。
問合せ先	<p>その他、この研究に関するお問合わせは、下記へご連絡ください。</p> <p>金沢医科大学 眼科学 水戸毅</p> <p>住所：石川県河北郡内灘町大学1-1</p> <p>☎：（代表）076-286-2211 内線（2211）</p>

作成日： 2025 年 11 月 6 日